

【河川】肝属川水防災意識社会再構築協議会を開催しました！

平成28年6月2日
大隅河川国道

1.概要

- **肝属川水系で発生し得る大規模な豪雨に伴う浸水被害に備え**、流域の市町や県、国が連携して、減災のため目標を共有し、対策を一体的かつ計画的に推進するため**6月2日に水防災意識社会再構築協議会を設立**しました。
- 今後、関係機関と地域住民が協力して、水害に負けない強い地域づくりを目指すために、5ヶ年で取組むべき内容を定めた**「地域の取組方針」を8月を目標に策定**します。

2.日時／実施状況

日 時：平成28年6月2日（木）

場 所：大隅河川国道事務所 3階大会議室

出席者：鹿屋市（市民生活部長）、肝付町（町長）、東串良町（町長）、
鹿児島地方气象台（台長）、鹿児島県（河川課 課長補佐）、
鹿児島県（危機管理防災課 専門員）、
大隅河川国道事務所（所長） **関係機関 約20名が参加**

会場全景（大隅河川国道事務所）



3.議事内容

- ・協議会の規約について合意形成がなされた。
- ・現状での水害リスクや「水害に強い地域づくりのあり方について」の取組状況について共通認識を得た。
- ・減災のための目標等について意見交換を行った。

4.主な意見・コメント

- ・早めに水位情報をもらい避難に関する情報を出そうとは思うが、被害など何もない事が続くと住民が避難を行わなくなる事が懸念されるため判断に迷う場合がある。
- ・近年は雨の降り方が変わってきている。我々の危機感をいかに伝えるかが重要。
- ・避難に関する情報は住民に正確に意味が伝わっているかが重要。
- ・近年、大きな災害が発生していないため、有事の際の対応が懸念。
- ・自主防災組織の活動が重要。



肝付町長



東串良町長

※昨年12月11日に発表された「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、全国の直轄河川で協議会の設置を進めています。